

「ようこそくまもと観光立県推進計画(2021年度-2023年度)」(概要)

前計画からの位置づけ

熊本地震からの観光の
創造的復興の実現
～つながりを力に～

- これまでの取組みを活かしつつ、社会状況の変容を踏まえて、新たなマーケットを確保し、足腰の強い観光産業への転換を目指す。
- 時代に対応したスマート観光を実現しつつ、地域の組織と担い手の整備を進める。

基本目標

くまもと観光イノベーション ～新たな観光スタイルにより観光立県を実現～

基本的な方針

- **ニューノーマルを意識した「新しい観光スタイル」の実現**
旅行者数の回復を目指すとともに、消費者の価値観の変容への対応と観光事業者の経営体制の強化等により、新たな観光マーケットの確保と足腰の強い観光産業への転換を目指す。
- **災害に強く、安全・安心・満足度の高い観光地域づくり**
デジタル技術等を導入した観光DX(スマート観光)の実現により、新たな時代に対応した観光地域づくりを目指す。
- **「地域産業を潤す観光立県」を実現する観光基盤づくり**
次代の担い手育成や観光地としての体制の整備を進めながら、各地域の資源・特色を活かした持続可能な(SDGs)振興策を展開。

全体目標	2023	2019
延べ宿泊客数	800万人	763万人
●新型コロナウイルスの影響により激減した宿泊客数を2018年(805万人:過去最高)の水準まで回復させる。		
活動目標	2023	2019
観光消費額	3,500億円	3,220億円
「くまもつと旅行社。」 旅行商品販売件数	13,000件	約10,000件
クルーズ船寄港数	100回	19回

本県の観光を取り巻く現状と感染症拡大及び豪雨災害の影響

- 人口減少と観光に対する期待の高まり
- 新型コロナウイルス感染症の影響による観光経済の大幅な縮小と観光事業者の経営への打撃
- 令和2年7月豪雨の発生による県南地域を中心とした観光産業への大きな被害
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響下における生活様式の変化
- DXを筆頭としたデジタル化やSDGsへの意識の高まり

熊本県の観光の課題

- withコロナ時代に対応した新たな観光スタイルの確立
- 更なる魅力ある観光地域づくり
- 観光産業の「稼ぐ力」「財務体質」の強化を図るための観光需要の更なる掘り起こしや宿泊施設等の経営改善支援
- 近年、本県観光を支えてきたインバウンド需要の早期回復
- 災害に強い安全・安心な観光地域づくり
- 被災観光地の創造的復興
- 新たな価値観に対応した観光地域・受け地づくりを実現する、地域の担い手の育成

方針Ⅰ

ニューノーマルを意識した新しい観光スタイルの実現

戦略1 ニューノーマル時代の観光地域づくり

- 観光の高質化、高付加価値化による観光消費の促進
- 熊本の魅力を活かしたニューノーマル時代のコンテンツ開発
 - 観光と新たなトレンドの掛け合わせによる魅力的なコンテンツの開発
 - 恵まれた泉質(温泉)と豊富な食を組み合わせたウェルネスツーリズムの推進(くまもつと湯美人)
 - 熊本が誇る絶景を活かした観光(観動プロジェクト)
 - アウトドア・アクティビティプログラムの開発
- 東アジアエリアからの安定・分散型の誘客確保

戦略2 新しいマーケット確保への挑戦

- 従来型の観光に捉われない、新たなターゲット層の開拓
 - 新たな時代に対応したスポーツツーリズムの推進
 - 「くまモン」や「マンガ・アニメ」等コンテンツの活用
 - 熊本地震を教訓とした、震災ミュージアムをはじめとする防災観光の推進
 - MICE誘致やアフターコンベンション対応
 - ワーケーションやブレジャーの導入による新たな旅行需要の創出
 - ナイトタイムエコノミーの推進による観光消費の拡大
- 情報発信の工夫やプロモーションの実施による、新たな顧客層の掘り起こし
- タビアト消費の確保(ECサイト、ふるさと納税)
- 東南アジア、欧米豪からの新規誘客へのチャレンジ
- クルーズ船の誘致による観光消費拡大
- アウトバウンド等、相互交流の促進
 - 若者の海外旅行の推進
 - おもてなしマインドの醸成、草の根国際交流の推進

方針Ⅱ

災害に強く、安全・安心・満足度の高い観光地域づくり

戦略3 観光DXの実現と利便性の高い観光地域づくり

- 観光体験と二次交通をICTで組み合わせるスマートツーリズムの推進
 - 二次交通の課題を解決する観光MaaSプラットフォーム
 - 着地型旅行商品販売プラットフォームの充実
- 駅・空港・港の誘客拠点としての機能強化と観光地へのアクセス向上
- 観光マーケティングの強化
 - デジタル媒体を活用した効果的な情報発信と分析データの蓄積・活用による観光施策の立案
 - 統計データ等の活用による観光マーケティングの推進
- デジタルインフラの整備
 - Wi-Fiやキャッシュレス推進、観光情報充実等による利便性向上
 - 避難誘導に役立つシステム導入等、災害を意識した取り組み
- 多様な旅行者への配慮

方針Ⅲ

地域産業を潤す観光立県を実現する観光基盤づくり

戦略4 地域を潤す観光産業の育成

- 被災地域の観光復興戦略
 - 阿蘇～世界文化遺産の登録を見据えた世界水準のブランド化～
 - 人吉琢磨～琢磨川ゆかりの観光資源を活用した創造的復興～
- 各地域の特色を活かした観光振興方針
 - 県北 (2) 県央 (3) 県南 (4) 天草
- 「食」の観光資源の充実(一地域一ご当地グルメ運動の展開)
- 教育旅行の誘致に向けた取り組み
- 多言語対応の充実
- 地域のブランド力を高める宿泊施設の誘致
- 将来を見据えた観光産業と人材の育成
 - DMO等の機能強化(くまもつと観光地域応援社)
 - 事業者の稼ぐ力の強化とBCP計画策定の促進
 - 地域を担う観光人材の育成・確保
 - 地域循環(地産地消)型観光の実現

推進体制

イノベーションを促す観光振興推進体制

○県と観光連盟、観光協会等との役割分担、機能強化 ○国や九州観光推進機構、市町村及び他県との連携